

現状と課題

心の豊かさや生きがいを求める市民ニーズの高まりに伴って、市民の芸術・文化活動がますます活発になってきています。

市、市民、文化団体などとの協働により、さらなる芸術・文化活動の推進や施設の充実を図るため、平成18年3月に「西宮市文化振興ビジョン」を策定しました。今後、ビジョンに基づき、芸術文化施策について検討を行う必要があります。

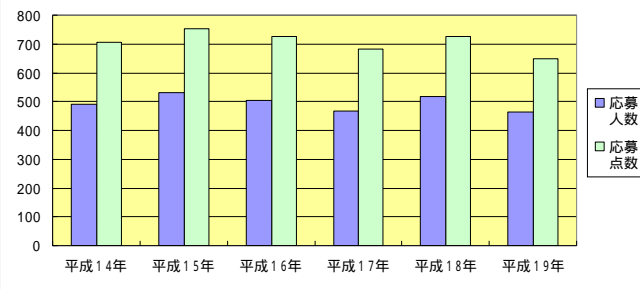
本市は、芸術家や専門家が多数居住し、10の大学・短大に教員・学生が、数多く集う人材豊かなまちです。また、自ら文化活動を行う、市民を含め、大小の演奏会や創作展示などの活発な活動が展開されています。

芸術・文化活動の場として、市民会館アミティホールやフレンテホール、市民ギャラリー、北口ギャラリー、兵庫県立芸術文化センターなどが整備されています。

本市は、全国でも私立美術館、博物館の集積の多いエリアの1つです。また、美術館や博物館などの文化施設、大学・短大、豊かな自然環境、文教地区や個性的な街並み、都市景観などを醸し出す本市のまちの雰囲気は、文化の創造とも深く関わっています。

現在、市内には、建造物、絵画・彫刻、工芸、考古資料、民俗文化財、史跡、天然記念物など、国・県・市をあわせて150件を超える指定文化財があります。この数字は、阪神間他市に比べても多く、文化財の保存と整理、活用が課題となっています。

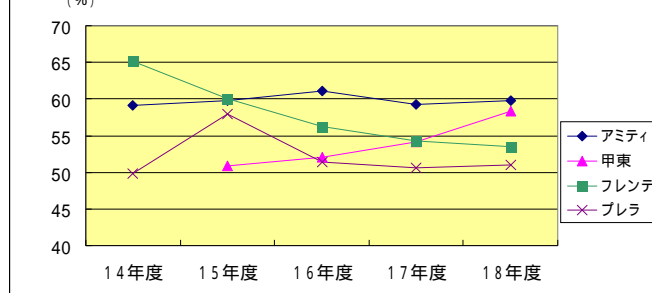
西宮市展 応募人数・応募点数推移



市民文化祭参加状況推移

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
行事数(件)	550	558	508	529	571	588
参加団体(団体)	807	785	707	747	784	814
延べ参加者(人)	13,509	13,158	13,947	13,508	14,778	14,221

市立ホール稼働率



まちかどコンサート

基本方針

これまで培われてきた文化や伝統を継承・発展させるとともに、創造的な芸術・文化活動の振興を図り、芸術・文化の美しい風がふく、豊かな心のまちをめざします。

主要な施策展開

(1) 市民文化を担う人材の育成と活用

若手芸術家が活躍できる事業の充実や学生が文化活動の担い手として参加できる機会の提供に努めます。

(2) 市民の芸術・文化活動の奨励

市民の自主的な芸術文化活動を促進するとともに、(財)西宮市文化振興財団を支援し、芸術・文化団体等の育成、ならびに、優れた芸術に接する機会を市民に提供します。

(3) 文化施設の活用・整備

芸術文化の鑑賞、創造などの拠点である、市立のホールやギャラリー、練習場について、情報の提供に努めるほか、利用しやすい運営に努めるとともに、施設機能の整備、県および民間施設との連携に取り組んでいきます。また、市ゆかりの文学者・文学作品を紹介する文学館の整備を進めます。

(4) まちのミュージアム化の推進

市内各所に点在する貴重な文化的資源を活用し、まちを歩くことで、芸術や文化、歴史を実感できるような、まちそのものがミュージアムになる取り組みを進めます。また、本市を特徴付ける、文化のまち西宮を積極的に発信します。

(5) 文化財の保護と活用

文化財の保護・保全に努め、文化財の整理・活用を進めます。また、市民の文化財愛護の精神を育むため、地域の歴史や伝統文化・芸術についても積極的に紹介し、理解と愛着心の醸成に努めます。

(6) 郷土資料館等の充実

郷土資料館や和紙学習館などでは、文化財の展示や各種講座・学習会などの事業を市民と協働して充実させるとともに、地域の歴史・文化財への市民の関心を高めます。

市民一人ひとりの活動

芸術・文化に親しむ。
文化財を大切にする。

まちづくり指標

<指標の考え方>

文化活動への市民の参加を促し、文化を担う幅広い人材を育成するため、造形部門の登竜門として実績のある「西宮市展」の応募者数の増加を重点目標に位置付けます。

重点	指標名	単位	現状値(H18)	目標値(H30)	指標方向
	西宮市展応募点数	点数	727	1100	▲
		式	-		
		H30目標値の設定理由			
		過去最高値を参考に設定			
	西宮市民文化祭参加団体数	団体	784	850	▲
		式	-		
		H30目標値の設定理由			
		過去最高値を参考に設定			
	市立ホール平均稼働率(アミティ・甲東・フレンテ・プレラ)	%	55.7	70.0	▲
		式	各ホール稼働率合計 / 4		
		H30目標値の設定理由			
		1日の利用区分(午前・午後・夜間)の2/3以上の稼働が目標			

主な部門別計画

西宮市文化振興ビジョン

【総合企画局：平成18年4月～平成27年3月】